

基幹教育セミナー

健康・スポーツ科目

文系ディプロン科目

言語文化科目

課題協学科目

理系ディプロン科目

総合科目

専攻教育科目
(専門教育科目)

系統医学Ⅰ

医学生物学概論 人体構造概論
組織学 統合生理学
分子生化学 統合生理学
代謝生化学

総合医学Ⅰ

医学入門 医工学入門
周産期チーム医療入門
プライマリケア入門
性差医学入門

国際医学

国際医学Ⅰ

モジュールⅡ

高年次基幹教育科目

系統医学Ⅱ

肉眼解剖学 統合生理学
神経解剖学 放射線基礎医学
発生学 遺伝学
分子生理学

総合医学Ⅱ

生命を捉えなおす
神経科学の最前線
形態科学
細胞シグナル伝達入門

国際医学Ⅱ

社会医学

社会医学Ⅰ

系統医学Ⅲ

免疫学 病理学
寄生虫学 薬理学
細菌学 臨床薬理学

総合医学Ⅲ

研究室配属

系統医学Ⅳ

ウイルス学 腎・高血圧
臨床検査医学 泌尿・生殖器
血液 循環器

総合医学Ⅳ

スポーツ医学 臨床推論演習
臨床病理学

4年次

聴・嗅・味覚器 心身医学
 皮膚 精神医学
 内分泌・代謝 侵襲医学
 感染症・中毒 歯科口腔外科学
 アレルギー・膠原病
 臨床検査・放射線医学

インフォームドコンセント
 医療コミュニケーション入門
 医工連携

系統医学Ⅶ

臨床医学基本実習(OSCE CBT)
 臨床医学基本実習 救急医療
 症候診断学 臨床腫瘍学
 総合診療 緩和ケア
 免疫・移植医療 老年医学
 リハビリテーション
 臨床遺伝学・遺伝子治療

総合医学Ⅶ

薬害 臨床倫理
 漢方診断演習
 チーム医療演習
 異常所見と病態生理
 鑑別診断のための医療面接法
 臨床推論演習

衛生学

公衆衛生学

法医学

医療情報学

MD-PhD
 コース

4年次修了後に休学し、大学院博士課程に飛び級で入学して
 医学博士の学位を取得後、医学科5年次に復学します。MD-PhDについて▶

5年次

臨床実習Ⅰ

血液・腫瘍内科 第二外科
 免疫・膠原病・感染症内科 整形外科
 消化器内科 脳神経外科
 腎・高血圧・脳血管内科 心臓血管外科
 内分泌代謝・糖尿病内科 小児外科
 肝臓・膵臓・胆道内科 皮膚科

心療内科 泌尿器科
 神経内科 精神科神経科
 循環器内科 眼科

臨床実習Ⅱ

呼吸器内科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
 産婦人科 放射線科

6年次

基幹教育セミナー

健康・スポーツ科目

文系ディプロン科目

言語文化科目

課題協学科目

理系ディプロン科目

総合科目

専攻教育科目

生命科学科独自の科目

医学科と共通

モジュール II

高年次基幹教育科目

生命科学概論 I、II
科学英語 I
総合生命科学 I、II

生命科学入門
分子細胞生物学入門
生体の構造と機能 I
生命医科学実習 I
生体の構造と機能 II~IV
生命医科学実習 I~III

早期研究室体験実習
科学英語 II

生体の構造と機能 II、IV~VII
生命医科学実習 I~II
感染と宿主対応 I

分子細胞生物学 I、II
生体応答制御学 I、II
生体機能情報学 I、II
科学英語 III

感染と宿主対応 II、III
病因と病態
薬物と生体反応
生命医科学実習 IV
社会医学入門

臨床検査医学
医療系統合教育科目

病態制御学(臨床医学概論) I~V
生命科学研究法
生命科学特別講義
生命科学特別研究
安全管理学
科学英語 IV

医療系統合教育科目

生命科学特別講義
生命科学特別研究(卒業研究)

医療系統合教育科目

プログラム名:看護学学位・学士(看護学)

到達目標に対応した授業科目(科目群)と履修の流れ(カリキュラムマップ)

教育の目的
九州大学医学部保健学科看護学専攻では、病む人だけではなく全ての人の健康を支えるため、人間の尊厳を理解し、看護の知識と技術、科学的判断力と創造的思考を修得することにより、専門的知識と実践力を有する看護師、保健師、助産師を養成します。さらに「医療とコミュニケーション」や「多文化と看護」などの講義を多く取り入れることにより、国際的に活躍できる医療人を育成します。

下線は選択科目

到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
知識・理解								
1. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、高い倫理観を基盤に生命の尊厳や人への理解を深めることができる。	理系ディプロン科目		実習A(1)			実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
2. 援助的な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。			実習A(1)			実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)	卒業研究(6)
3. 分野横断的教育によって養われた知識を統合し、論理的に思考することができる。			病原体学Ⅰ(2)、病原体学Ⅱ(1)、病理学総論(2)、口腔保健学(1)、実習A(1)	薬理学概論(2)、保健統計学(1)、基礎医療概論(1)、リハビリテーション論(1)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
4. 状況判断を的確に行い、専門職として必要な科学的根拠に基づいた問題解決能力と看護実践能力を修得する。			小児疾病論(1)、母性疾病論(1)、精神保健・疾病論(1)、実習A(1)	医療安全論(1)、臨床医学論Ⅰ(2)、臨床医学論Ⅱ(2)、老年保健・疾病論(1)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)	卒業研究(6)
5. 看護の役割と機能を理解し、保健医療チームの一員として貢献することができる能力を修得する。			公衆衛生学(2)、実習A(1)	保健医療福祉行政論Ⅰ(1)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)	卒業研究(6)
6. 科学的知識や方法論を学び、専門性の高い看護実践や看護研究に発展させていくことができる。	人体の構造と機能ⅠA(2)、人体の構造と機能ⅡA(2)、生化学(2)	人体の構造と機能ⅠB(2)、人体の構造と機能ⅡB(2)、放射線医学技術学概論(1)	医学総論Ⅰ(2)、医学総論Ⅱ(2)、実習A(1)	臨床病態学(1)	看護研究入門(1)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
7. 生涯にわたって、看護学の本質への高い関心と探求意欲を持ち、主体的に学習し、自己啓発に努める。			実習A(1)			実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
8. アジアをはじめとする異文化に関心を持ち、国際社会の健康増進に貢献する意欲を持つことができる。								
専門的能力								
1. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、高い倫理観を基盤に生命の尊厳や人への理解を深めることができる。		看護学概論(1)	成人看護学概論(1)、母性看護学概論(1)、老年看護学概論(1)、実習A(1)	小児看護学概論(1)、精神看護学概論(1)、公衆衛生看護学概論(2)	医療倫理・終末期医療論(1)、助産学概論(1)、助産診断・技術学(2)、リハビリテーション基礎理論(2)、基礎助産学(2)	実習B(16)	保健医療福祉行政論Ⅰ(1)、実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
2. 援助的な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。		コミュニケーション論(1)	実習A(1)			実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
3. 分野横断的教育によって養われた知識を統合し、論理的に思考することができる。			実習A(1)	在宅看護論概論(1)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
4. 状況判断を的確に行い、専門職として必要な科学的根拠に基づいた問題解決能力と看護実践能力を修得する。			看護技術学Ⅲ(3)、実習A(1)	看護技術学Ⅱ(2)、看護理論・看護過程論(1)、老年看護学各論Ⅰ(1)、母性看護学各論Ⅰ(1)、小児看護学各論Ⅰ(1)、小児看護学各論Ⅱ(1)	成人看護学各論Ⅰ(1)、成人看護学各論Ⅱ(1)、成人看護学各論Ⅲ(1)、成人看護学各論Ⅳ(1)、老年看護学各論Ⅰ(1)、母性看護学各論Ⅱ(1)、小児看護学各論Ⅱ(1)、精神看護学各論(1)、在宅看護論各論(1)、助産過程論(1)、公衆衛生看護学助産概論Ⅰ(1)、公衆衛生看護学助産概論Ⅱ(2)	助産学概論(1)、産婆法概論(1)、産婆法実習(1)、実習B(16)	公衆衛生看護学活動展開論Ⅰ(3)、実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
5. 看護の役割と機能を理解し、保健医療チームの一員として貢献することができる能力を修得する。			実習A(1)			実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
6. 科学的知識や方法論を学び、専門性の高い看護実践や看護研究に発展させていくことができる。			実習A(1)	成学(1)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
7. 生涯にわたって、看護学の本質への高い関心と探求意欲を持ち、主体的に学習し、自己啓発に努める。			実習A(1)	先端医療看護論(1)	がん看護論(1)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
8. アジアをはじめとする異文化に関心を持ち、国際社会の健康増進に貢献する意欲を持つことができる。				地域母子保健(1)				
汎用的能力								
1. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、高い倫理観を基盤に生命の尊厳や人への理解を深めることができる。			実習A(1)			実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
2. 援助的な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。	学術英語1・リーディング・リスニングA、学術英語1・ライティング・スピーキングA、第2外国語Ⅰ	コミュニケーション論(1)、学術英語1・リーディング・リスニングB、学術英語1・ライティング・スピーキングB、第2外国語Ⅱ	実習A(1)	学術英語1・CALL-A、学術英語1・CALL-B、学術英語2、学術英語3、学術英語ゼミ、実習A(1)	学術英語1・CALL-A、学術英語1・CALL-B、学術英語2、学術英語3、学術英語ゼミ	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
3. 分野横断的教育によって養われた知識を統合し、論理的に思考することができる。			実習A(1)	クワリカルシンキング論(1)、実習A(1)	看護管理Ⅰ(1)、助産管理Ⅰ(1)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
4. 状況判断を的確に行い、専門職として必要な科学的根拠に基づいた問題解決能力と看護実践能力を修得する。			実習A(1)	実習A(1)	看護管理Ⅰ(1)、助産管理Ⅰ(1)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	救急衛生学(1)、卒業研究(6)
5. 看護の役割と機能を理解し、保健医療チームの一員として貢献することができる能力を修得する。			実習A(1)	実習A(1)	看護管理Ⅰ(1)、助産管理Ⅰ(1)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
6. 科学的知識や方法論を学び、専門性の高い看護実践や看護研究に発展させていくことができる。			実習A(1)	実習A(1)	看護管理Ⅰ(1)、助産管理Ⅰ(1)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
7. 生涯にわたって、看護学の本質への高い関心と探求意欲を持ち、主体的に学習し、自己啓発に努める。	学術英語1・リーディング・リスニングA、学術英語1・ライティング・スピーキングA、第2外国語Ⅰ	学術英語1・リーディング・リスニングB、学術英語1・ライティング・スピーキングB、第2外国語Ⅱ	実習A(1)	学術英語1・CALL-A、学術英語1・CALL-B、学術英語2、学術英語3、学術英語ゼミ	学術英語1・CALL-A、学術英語1・CALL-B、学術英語2、学術英語3、学術英語ゼミ	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
8. アジアをはじめとする異文化に関心を持ち、国際社会の健康増進に貢献する意欲を持つことができる。								
態度・志向性								
1. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、高い倫理観を基盤に生命の尊厳や人への理解を深めることができる。	課題協同学科目、基幹教育セミナー、健康・スポーツ科目	課題協同学科目、基幹教育セミナー	実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)	看護技術学Ⅱ(2)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	看護理論・コミュニケーション論(1)、卒業研究(6)
2. 援助的な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を修得する。	課題協同学科目、基幹教育セミナー	課題協同学科目、基幹教育セミナー	実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)	看護技術学Ⅱ(2)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	卒業研究(6)
3. 分野横断的教育によって養われた知識を統合し、論理的に思考することができる。	課題協同学科目、基幹教育セミナー	課題協同学科目、基幹教育セミナー	実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)	看護技術学Ⅱ(2)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	災害とチーム医療論(1)、公衆衛生看護管理論(1)、助産管理Ⅰ(1)、卒業研究(6)
4. 状況判断を的確に行い、専門職として必要な科学的根拠に基づいた問題解決能力と看護実践能力を修得する。			実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)	看護技術学Ⅱ(2)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	公衆衛生看護管理論(1)、助産管理Ⅰ(1)、卒業研究(6)
5. 看護の役割と機能を理解し、保健医療チームの一員として貢献することができる能力を修得する。			実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)	看護技術学Ⅱ(2)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	公衆衛生看護管理論(1)、助産管理Ⅰ(1)、卒業研究(6)
6. 科学的知識や方法論を学び、専門性の高い看護実践や看護研究に発展させていくことができる。			実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)	看護技術学Ⅱ(2)		実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	公衆衛生看護管理論(1)、助産管理Ⅰ(1)、卒業研究(6)
7. 生涯にわたって、看護学の本質への高い関心と探求意欲を持ち、主体的に学習し、自己啓発に努める。	課題協同学科目、基幹教育セミナー	課題協同学科目、基幹教育セミナー	実習A(1)、看護技術学Ⅲ(3)、高年次履修科目(4年後期まで合計10以上)	看護技術学Ⅱ(2)、高年次履修科目(4年後期まで合計10以上)	高年次履修科目(4年後期まで合計10以上)	実習B(16)	実習B(10)、実習C(2)、実習D(5)、実習E(11)、卒業研究(6)	災害とチーム医療論(1)、看護教育論(1)、卒業研究(6)、高年次履修科目(4年後期まで合計10以上)
8. アジアをはじめとする異文化に関心を持ち、国際社会の健康増進に貢献する意欲を持つことができる。								臨床保健学(1)
備考 学術英語2・リーディング・リスニング 学術英語2・ライティング・スピーキング 学術英語2・オール・コミュニケーション 学術英語2・ファストライティング 学術英語3・個別テーマ 学術英語3・科学英語 学術英語ゼミ・リーディング・リスニング 学術英語ゼミ・ライティング・スピーキング 学術英語ゼミ・オール・コミュニケーション 学術英語認定科目								
領域1-4 実習A(1)						領域1-4 実習B(16)		領域1-4 実習C(10)、C(2)、D(5)、E(11)
実習A(1):基礎看護学実習Ⅰ(1)						実習B:基礎看護学実習Ⅱ(2) 成人・老年看護学実習Ⅰ(4) 成人・老年看護学実習Ⅱ(4) 母性看護学実習(2) 小児看護学実習(3) 精神看護学実習(2) 在宅看護論実習(2)		実習B:母性看護学実習(2) 小児看護学実習(3) 老年看護学実習(1) 精神看護学実習(2) 在宅看護論実習(2) 実習C:総合実習(2) 実習D:公衆衛生看護学実習Ⅰ(2) 公衆衛生看護学実習Ⅱ(3) 実習E:助産学実習Ⅰ(3) 助産学実習Ⅱ(2)
領域2-4 卒業研究(6)								
領域2-4 卒業研究(6)								

到達目標に対応した授業科目(科目群)と履修の流れ<カリキュラムマップ>

教育の目的

・医療人としての豊かな人間性と生命の尊厳、倫理観を備えた人材を育成する。

・診療放射線技師としての十分な知識と技能を習得し国家資格を取得できる人材を育成する。

・医療技術の基盤となる理工学、医学、放射線技術学における知識や技術の向上を目指す探求心、研究的姿勢を育てる。

医療系基礎教育 【 必須 】	【 必須 】 専門【 必須 】 （一部 基礎 教育科目含む）	【 必須 】 実験/実習【 必須 】
医療系基礎教育 【 選 】	【 選 】 専門選択【 選択必須 】	

プログラム名：保健学
学位：学士(保健学)
<医学部保健学科放射線技術科学>

到達目標	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A 知識・理解								
・各種放射線の種類と性質について説明できる。			放射線物理学	放射線管理学（関係法規含む） 原子核物理学	放射線計測学実験 放射線機器学実験			
・放射線の人体への影響、放射線の管理ならびに防護について説明できる。			放射線生物学	放射線管理学（関係法規含む）	核医学検査学 I 放射線管理学実験	核医学検査学 II		
・各種画像検査装置の撮像原理、検査法および放射線治療技術について説明できる。				放射線診断機器学	X線CT画像技術学 核医学検査学 I 放射線画像技術学 I MR画像技術学	放射線治療技術学 II 核医学検査学 II 放射線画像技術学実習 放射線画像技術学 II		
・各種画像検査による放射線被曝線量について説明できる。					放射線計測学実験 放射線管理学実験			
・各種の画像検査に必要な人体の構造および画像解剖について説明できる。				画像解剖学 I 画像解剖学演習		画像解剖学 II		
・正常と疾患の基礎的医学項目について説明できる。	人体の構造と機能 I A 人体の構造と機能 II A 生化学	人体の構造と機能 I B 人体の構造と機能 II B	病原体学 I 病原体学 II 病理学総論 医学総論 I 医学総論 II 公衆衛生学 口腔保健学	臨床医学論 I 臨床医学論 II 薬理学概論 救急蘇生学 病理学各論 臨床イメージング				
・放射線治療に必要な放射線生物学・物理学的事項、および標準的な治療法と適応について説明できる。			放射線物理学 放射線生物学	放射線計測学 放射線治療計測学	放射線治療技術学 I	放射線治療技術学 II		
・診療放射線技師の業務内容と医療における診療放射線技師の役割について説明できる。		放射線医学技術学概論			放射線画像技術学 I	放射線画像技術学 II		

				放射線管理学（関係法規含む）	MR画像技術学			
B 技能（B-1 専門的能力） ・患者または被検者（以下、患者等）に対する接遇を身につけ、検査手順と内容、合併症や禁忌についても説明ができる。								医療系統合教育（基幹教育） （基） 臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・病院内の他業種（看護師や臨床検査技師等）に対して、各種画像検査および放射線治療における安全管理についての教育、指導を行える。					品質管理論			医療系統合教育（基幹教育） （基） 臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・在学中に病院および学内で、各種画像検査および放射線治療技術等の実習を修了し、実践の基礎を身につけている。					放射線画像技術学実習			臨地実習 週3日
・在学中に習得した論理的思考能力および実践能力を基盤に、工学ならびに医療分野での技術開発および研究分野へ活用できる。					放射線治療技術学実習			卒業研究 週2日 卒業研究 週2日
B 技能（B-2 汎用的能力） ・知識の統合的把握能力を身につける。								臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・専門分野の内容の深い理解に基づき、意見を述べ、討論する能力を鍛え、広く国内外で他職種の人と交流できる能力を身につける。								臨地実習 週3日 臨地実習 週3日 卒業研究 週2日 卒業研究 週2日
・放射線技術学、医療、ならびに医学の領域についての理解と思考を獲得する。	基礎医療統計 看護学概論 放射線医学技術学概論 国際保健学			放射化学・実験	放射線治療・核医学機器学	保健医療福祉行政論 I		臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・基礎的な理工学、情報通信技術の基礎を身につけ、これを医療ならびに研究等に活用できる能力を身につける。		電気電子工学入門 物理数学 I 物理数学 II 医用光学		医用画像情報学 コンピュータプログラミング入門 医用電気電子工学実験	医用画像情報学実習	医用画像評価学		
・診療放射線技師としての医療における問題点を拾い上げ、これを解決することに繋げる能力を身につける。	基礎医療統計							
C 態度・志向性 ・生命の尊厳、倫理観および専門知識と技術に基づきチーム医療に貢献する。	医療安全学				放射線画像技術学 I	放射線画像技術学 II 放射線画像技術学実習		臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・積極的に周囲の人とコミュニケーションできるようにする。								臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・周囲の人と協働して課題に取り組み協調性を育む。								臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・医療人として、患者等の精神面にも配慮できる人間性を養う。								臨地実習 週3日 臨地実習 週3日
・専門である放射線ならびに放射線関連技術はもちろんのこと、専門以外であっても、医療、医学に対する継続的な研鑽を積み心構えを養う。	看護学概論							医療系統合教育（基幹教育） （基）
・医療人とともに診療放射線技師として社会に貢献できることを考えそれを実践する。	医療安全学							臨地実習 週3日 臨地実習 週3日

到達目標に対応した授業科目(科目群)と履修の流れ<カリキュラムマップ>

教育の目的

基礎教育科目 学部専攻教育科目

プログラム名:
学位:学 士(保健学)
<医学部保健学科検査技術科学>

教育の目的	1年		2年		3年		4年	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
A. 知識・理解について								
正常と疾患の基礎的医学項目について説明できる。	人体の構造と機能 生化学	人体の構造と機能B	病原体学Ⅰ・ 医学総論Ⅱ 臨床免疫学Ⅰ 生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・ 口腔保健学 医学総論Ⅰ 病理学総論	病理学各論 臨床医学Ⅰ 臨床医学Ⅱ 組織病理検査学および実習 血液検査学 薬理学概論 生理機能検査学実	生化学・臨床化学実習 組織病理検査学および実習Ⅱ	組織病理検査学および実習Ⅲ 形態検査学特論 生物化学分析検査学特論 病因・生体防御検査学特論 先進臨床検査特論		
(医療・社会における臨床検査技師の役割について理解する。		臨床検査総論			検査管理総論	輸血検査学		
臨床検査の原理および意義と方法について説明できる。		検査基礎技術Ⅰ	生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・ 臨床免疫学Ⅰ 医用工学・情報概論実 生体情報計測学 検査基礎技術Ⅱ 一般検査および実習	臨床化学 生体情報計測学実	血液検査学実習 臨床微生物学および実 生化学・臨床化学実	組織病理検査学および実習Ⅲ 輸血検査学 形態検査学特論 生物化学分析検査学特論 病因・生体防御検査学特論 先進臨床検査特論	臨床実習	
各臨床検査を行う上での基礎的知識を身につける。		基礎医療統計 検査基礎技術Ⅰ	検査基礎技術Ⅱ 医学総論Ⅰ 医学総論Ⅱ 医用工学・情報概論 生体情報計測学 生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・ 病原体学Ⅰ・ 一般検査および実習	臨床免疫学Ⅱ 生体情報計測学実 生理機能検査学実習	血液検査学実習 遺伝子・細胞工学 生化学・臨床化学実	遺伝子検査学実験 免疫細胞解析学 輸血検査学	臨床実習	卒業研究
各種臨床検査および検査結果の意味について説明できる。				臨床化学 生体情報計測学実験 生理機能検査学実習	血液検査学実習 臨床微生物学および実 臨床免疫学実習 検査管理総論		臨床実習	
臨床検査における安全管理について理解する。			医用工学・情報概論	医療安全管理学 生理機能検査学実習	血液検査学実習 検査管理総論	輸血検査学		
B. 専門的能力について								
基礎的な自然科学、情報通信技術の基礎を身につける。	生化学	基礎医療統計	医学総論Ⅰ 医学総論Ⅱ 医用工学・情報概論 病原体学Ⅰ・ 臨床免疫学Ⅰ 医用工学・情報概論実 生体情報計測学	生体情報計測学実	遺伝子・細胞工学 生化学・臨床化学実	免疫細胞解析学		
学内実習において各臨床検査を行う上での基礎的技術		検査基礎技術Ⅰ	一般検査および実習 検査基礎技術Ⅱ	血液検査学 臨床化学 組織病理検査学および実習 生体情報計測学実 国際感染症学および実 生理機能検査学実習	血液検査学実習 臨床検査総論実習 臨床微生物学および実 臨床免疫学実習 放射性同位元素検査学・実 生化学・臨床化学実	形態検査学特論 遺伝子検査学実習 組織病理検査学および実習Ⅲ 輸血検査学	臨床実習	

臨床実習において実践の基礎的能力を身につける。				血液検査学 臨床化学 臨床医学論Ⅰ 臨床医学論Ⅱ 組織病理検査学および実習	検査管理総論 血液検査学実習 生化学・臨床化学実	組織病理検査学および実習Ⅲ	臨床実習	卒業研究
C. 汎用的能力について								
知識を統合し、全体を把握する能力を身につける。	人体の構造と機能 生化学	人体の構造と機能B	医学総論Ⅰ 医学総論Ⅱ 公衆衛生学 病原体学Ⅰ・ 医用工学・情報概論実 生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・ 生体情報計測学 臨床検査統計学および演 一般検査および実習	血液検査学 生体情報計測学実 生理機能検査学実習	血液検査学実習 組織病理検査学および実習Ⅱ	輸血検査学 組織病理検査学および実習Ⅲ		
情報収集能力を身につける。		情報処理科目						
論理的思考に基づく問題解決能力を身につける。		基礎医療統計	生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・ 生体情報計測学 医用工学・情報概論実 臨床検査統計学および演 一般検査および実習	生体情報計測学実 生理機能検査学実習	血液検査学実習 生化学・臨床化学実	輸血検査学 組織病理検査学および実習Ⅲ		卒業研究
専門領域において自分の意見を述べ、発表できる。		言語文化科目		組織病理検査学および実習Ⅰ 血液検査学 生体情報計測学実	血液検査学実習	組織病理検査学および実習Ⅲ	臨床実習	卒業研究
人の意見を聞いて討論することができる。						組織病理検査学および実習Ⅲ		
D. 態度・志向性について				病原体学特論				卒業研究
積極的に周囲の人とコミュニケーションできる能力を身につける。		言語文化科目						
課題について周囲の人と話し合い、共に取り組む協調性を身につける。		基礎教育セミナー	一般検査および実習	病原体学特論 臨床化学実習 生体情報計測学実	血液検査学実習 生化学・臨床化学実 病理組織細胞学実習	組織病理検査学および実習Ⅲ	臨床実習	
医学・医療全般に対する興味・関心を養う。	人体の構造と機能 生化学	人体の構造と機能B 基礎医療統計	医学総論Ⅰ 口腔保健学 医学総論Ⅱ 公衆衛生学	臨床医学論Ⅰ 臨床医学論Ⅱ 血液検査学 組織病理検査学および実習Ⅰ 薬理学概論 国際感染症学および実習	組織病理検査学および実習Ⅱ	輸血検査学 組織病理検査学および実習Ⅲ 形態検査学特論 生物化学分析検査学特論 病因・生体防御検査学特論 先進臨床検査特論	臨床実習 医療系統合教育	